



<VOL168.2021.12>

もりおかクラブ事務所：〒020-0021 盛岡市中央通3-7-18 ラ・パルク中央 1階 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

今月の聖句 テサロニケへの手紙、5章16～18節より



「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。これこそ、キリスト・イエスにおいて、神があなたがたに望んでおられることです。」

「主題」

「世界とともにワイズメン」
「100年を越えて変革しよう」
「変化をたのしもう！」
「変化を楽しみながら新生北東部を創ろう！」
「再起動、新生もりおかクラブ」

国際会長 サム・サンテ (韓国)
アジア太平洋地域会長 大野 勉 (神戸ポート)
東日本区理事 大久保 知宏 (宇都宮)
北東部長 南澤 一右
(仙台青葉城)
もりおかクラブ会長 長岡 正彦

会長 長岡 正彦
副会長 山口 貴伸
書記 濱塚 有史
会計 大関 靖二
担当主事 宮澤 秋彦 (シュリンプ)
メネット 井上 優子

令和4年1月新年例会

日時、場所 1月8日(土曜日)、18時30分より、500円
アイーナ6F団体研修室3

新年お食事会。

じよ居、例会終了後より

会長巻頭挨拶



長岡会長

みなさまこんにちは、今年が終わろうとしています。現在12月24日クリスマスイブです。クリスマスの本来の意味は何回も聞いて理解しているつもりですが私も例外なく普通の日本人ですので楽しいクリスマスだけです。クリスマスにかこつけて家族との楽しい食事やおいしいお酒が楽しみです。

さて、世間を不安に陥れている新型コロナですが今度はオミクロンと言うものです。全国的に感染状況は落ち着いていますが、ぼつぼつと市中感染がでています。岩手県は36日連続感染者無し。36日前に県外からの来訪者が盛岡市で発症して以来です。その前も30日以上感染者が出ていませんでしたので、岩手県では2か月以上県民の感染者は出ていません。この調子でコロナの封じ込めを続けていきましょう。11月の例会の後、一年半ぶりに居酒屋で食事をしました。思い切りましたがすこし罪悪感

がありました。でも、小さな喜びも感じました。このウイルスに対しても普通のインフルエンザくらいの病気になればいいのに。たぶんもうすぐです。治療方法が確率すれば何も怖くはありません。どんな感染症でも運が悪く命を落とす人がいるのですから日常の健康に気を付けていれば怖くはない未来が来る事を待ちたいです。

12月クリスマス例会のご報告

12月11日、18時30分～20時30分、アイーナ団体活動室2。出席者、長岡、大関、濱塚、加藤、井上、魚住、宮澤(敬称略)。ゲスト、越山 哲也さん(牧師)、中村 渉さん(チャン)、斎藤 七穂さん(おむすび)、渡辺 拓人さん(しなちく)、高橋 広徳さん(イソジン)、榊原 夢花さん(にぼし)、野崎 はなさん(はなまる)以上14名の参加で開催いたしました。

無事に12月のクリスマス例会を開催できました。何か起きてすぐに例会は中止になる事を「いや」と思えるほど経験してきました。たのしいきましょう。

ゲストは、越山さん。牧師さんです。クリスマスのお話をお願いしていた内丸教会の陽子牧師が、急に出席できなくなりビックリしていたところに、越山牧師がゲストという事で、自己紹介を含む、クリスマスのお話をいただきました。越山さんありがとうございました。

出席してくれたリーダーたちの企画によるゲーム大会を開催しました。勝ったチームよりプレゼントの選択ができるのです。「当て字の漢字を組み合わせるとなんと読む。」「答えは想像力が勝負の難題クイズ」、そして一番盛り上がったのは「紙力士による、大相撲もりおかワイズ場所」です。各自、力士を切り取り、模様をつけて完成です。相撲と言えば大関さん。紆余曲折を経て、結局大関さんのチームが優勝です。買ったチームよりプレゼントを



クリスマス例会集合写真

暗闇の中の一筋の光



越山 哲也さん

盛岡聖公会 牧師 越山 哲也
今晩は、越山と申します。今日は、濱塚さんに誘われるままに勢いで来ました。勢いは時に大事です。今年の4月から盛岡聖公会に赴任してきました。家族は4人、妻と子供2人で、八戸から引っ越してきました。一気に時が過ぎて、長男が学校からYMCAのプログラムのチラシを貰ってきて、行きたいとうたってきました。子供の心を掴む楽しそうな企画でした。

学生時代からいろんな行事に参加してきました。その後引っ越しの人生を歩んできました。札幌に生まれ、仙台で大学まで過ごし、京都に3年、福島に2年、また仙台に2年、弘前に4年、会津若松に6年そこで東日本大震災を経験しました。その後、八戸に5年、そして盛岡に来ました。行く先々では、自分から出向かないと友達ができませんし人脈は広がりません。声をかけてもらったら、チャンス到来、いろんな所に出かけて行きます。今日の聖句ですが、実は私が一番好きな聖句です。クリスマスはキリストの誕生を祝うものです。僕には、弟がいましたが、20年前に自ら命を絶ちました。この事が今の私の仕事の原点になりました。9月の出来事で、3か月後のクリスマスが何も楽しいものではありませんでした。仙台のクリスマスイルミネーションは派手です。楽しそうな家族連れがたくさんいます。しかし、その頃の私には白黒の世界にしか見えませんでした。何かが違っていました。ある人が言っていました。12月24日、25日は自殺や失踪する人がとても多い日なのだそうです。ものすごくわかる気がしました。子供の世界にも楽しい輪の中に入れられない子がいます。

今年1年お疲れ様、最後の収穫と焼き芋、焼きそば

12月4日、加藤さんの枝豆畑で最後の収穫と、慰労の焼き芋大会と、ワイズ自慢の富士宮焼きそばのおふるまいを行いました。残っていた枝豆はすでに大豆となっておりました。一本ずつ切り取り、10本をひと株にまとめて、収穫していきます。はじめ、女子リーダーは太い茎にてこずり切れません。男子リーダーのトラが順調に切り進んでいましたが、10本一株の束を作るのに時間が掛かってしまいます。そこで、取材と称して、傍観していた長岡と濱塚メンが立ち上がり、どんどん枝豆の茎を切り進みま

を選び、全員満足のプレゼント交換が終わりました。

例会を開催できる喜びを噛み締めた一夜になりました。心残り出席者が少なかったことでしょうか。みなさん、来年こそぜひ出席してください。よろしく願いいたします。

その子は楽しくないと言います。そんな経験の後で、クリスマスって何だろう、キリストの誕生とはある特定の人達だけに与えられているものでしょうか。そうではありません。聖書をひもとくと、クリスマスは貧しさの中にあつたし、イルミネーションはなかったし、むしろ絶望的な状況にある人達に光があつた、だからメリークリスマスじゃないでしょうか。本当にそう思いました。私の祖父は12月24日に亡くなりました。病院の霊安室、ろうそく一本だけの部屋で看取っていました。イブの夜です、静かな部屋でおじいちゃんと2人きりで過ごしました。その3年後に祖母も旅立ちました。クリスマスは特別な日になりました。弟が亡くなった年のブラッククリスマスから本当のクリスマスの意味を身に染みて解りました。

初めて会った人から、家族の事をよく聞かれます。弟が自殺したことをはっきり言えなかった時期があり、でもそれは弟を否定していると考えました。その後は自殺の事を話すようにしました。そうしないと弟に叱られる気がしました。自分の作った言葉では人は絶対にこちらを向いてはくれないと思っています。特に子供たちは繕った言葉や態度では心を開いてはくれません。早くに亡くなった人の家族の前で、神様がどうしたなどと言ったところで家族にはなにも響きません。一緒に「どうしてでしょうかね」と寄り添ったほうがよほど慰めになります。

45歳になってもまだまだ未熟です。なぜいろんな所に顔をだすかという、いろんな人からいろんな事を吸収したいと思うからです。自分の姿をまだまださらけ出せてはいませんが、言い訳しないで自分の精一杯の言葉で紡いでいく事が必要だと思っています。「クリスマスは闇の中に一筋の明かりが灯された。」さやかにメリークリスマス。皆が幸せになれるように。

す。切った茎を女子リーダーが集めて、丁寧にまとめあげるという段取りに変更。効率が上がりました。岩手山もがんばれ〜とエールを送っています。



がん助どん、「がんぼんな〜、雪が積もる前に終わるんだぞ。」

作業開始から1時間半、ブイがお腹がへった〜と訴えました。聞けば朝ご飯をたべていないとの事で、燃料切れのようです。時間は10時過ぎ、「こんびり」の時間です。農作業のおやつを「小屋」と言いますが、なまって「こんびり」になります。でもこんびりはまったく通用しませんでした。長岡が、焼きそばの仕掛けを組み立て、10食の焼きそばを焼きあげました。さすがに若者達、あっという間にたいらげて、満足そうな表情を見せてくれました。1時まで作業を続け約8割方収穫しました。時間ですので上の畑に移動して焼き芋と焼きそばの準備です。濱塚メンがYMCAの活動終了のリーダー達を連れて戻ってきました。総勢15人くらいになったでしょうか。火起こしに苦戦したものの、無事時に火が付き、置き炭の上にラップで巻いたサツマイモを投入、落ち葉をかけて、蒸し焼きにします。すごい煙です。煙を浴びた女子が目をしょぼつかせて避難します。「美人に煙が掛かるのさ」、「私は、美人の証明だ」とは言ったものの煙はきつい。風上に位置を変えながら、焼き上がりを待ちます。

一足先に長岡の焼きそばがどんどん焼きあがります。一皿15人前ですが、あっという間に完食です。本日は50人分の材料を準備しましたが、焼きそばはすべて完食です。各自持ち込んだ野菜や卵、ソーセージなどをどんどん調理して提供、すべて完食です。もう食べられないだろうと思った所に、焼き芋が焼き上がり、リーダー達に提供しました。ほくほくの焼き上がりに、別腹

だよとばかりに、「美味しい〜」と、一本、また一本と食します。この食欲を見ると、日本の未来は明るいと思います。頼もしい限りです。今日の焼き芋、焼きそばは大成功を収めて終了です。雪が降ってきました。12月ですもんね。



軽トラの荷台に乗って、さあ、頑張るぞ〜



ブイとおむすび、焼き芋楽しみ〜



最後はマシュマロ焼き、でい〜

もりおかクラブの状況報告

12月の出席率	7/14	50 %	ゲスト7	名	ビジター0	名	メネット	0	名	
メーキャップ	0	名			12月の切手	10	g	累計	508	g
12月のにこにこ	0	円	累計	円	焼きそば	52,000	円	累計	52,000	円
12月の石鹸	1,000	円	累計	0	りんご	0	円	累計	0	円
12月の献金	0	円			ファンド合計	0	円			

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

12月のハッピーバースディ 全国の12生まれの皆様、お誕生日おめでとうございます。

今年の振り返り

1月:例会は中止でした。コロナ禍の中活動の中止が続いていました。東日本大震災から10年目の今年、ブリテンにも東日本大震災アーカイブスの連載中でした。1月は宮古教会に開設したYMCAのボランティアセンターの記事を岩手日報より掲載の記事を載せました。

2月:細越確太さん入会。入会式を行いました。



入会の宣誓です。



立会人の三田メンと一緒に

シンティア・ラザロさんがゲストで参加してくれました。ボランティアこそマイライフとして卓話をいただきました。コロナの自主自粛が続いていました。この頃はまだ全国で500人位の感染者でした。

3月:例会は中止でした。盛岡 YMCA の卒業式も中止となるどころでしたが、中止するのは簡単、どうやったら安全に開催できるかを考えて下さいとお願いして、無事感謝状を手渡しできました。



卒業おめでとう、抱えているのが心のこもった感謝状です

4月:シンティアさん入会式、1ヵ月遅れで入会式を行いました。南海トラフ地震の津波を想定した、高知県黒潮町の津波対策の記事を掲載しました。この様な自治体が増えれば安心感が沸き

ます。



ようこそシンティアさん心から歓迎いたします。これから、頑張ってください。

5月:コロナワクチンの接種が高齢者から始まったのが5月からでした。感染者が連日2桁を突破して、コロナが身近に迫ってきたのがこの月でした。そしてプリテンを書けない病気が始まったのも5月でした。プリテン書けない病はたぶん今も続いています。

6月:定例会にゲストで来てくれた畠山将樹弁護士の、社会や学校の決まり(ルール)は人権の前では全く無意味になるという話で人間関係の考え方が変わりました。他人を認めてから付き合いが始まり、自分の価値観なんて他人に押し付けてはいけません。法律は守らなければいけないが、常識のルールなどに縛られてはいけません。子供にはやってはいけない事を教え、教えていない事は自由な発想でやっています。このような社会であれば、発明家、政治家、将来楽しみな大人がでてくるような気がします。

7月:梅雨が一気に開け、夏がやって来ました。植物たちも、虫



たちも元気に活動していました。例会の卓話に臨済宗妙心寺派東禅寺僧侶 石崎稜さんが参加していただき、修行時代の事をお話していただきました。私ではどうも耐える事が出来ないつらい修行を乗り越えて、僧侶への道を歩んでいる方です。石崎さん

のお話が一番共鳴していたのが千葉メンでした。千葉メンも同じ修行の経験があったそうです。違いは、僧侶への道を開くための修行と、不良行為の更生のための修行でしょうか。目的は何にしても、私には出来ませんが結論でした。

8月:盛岡 YMCA のサマーキャンプに行ってきました。何十年ぶりに浄土ヶ浜で泳ぎ、ウニを採取しました。密漁ですから怒られそうでした。また、芦屋クラブ様のオンライン例会に初参加、旧

編集後記

今年の意念を振りかえってみましたが、富士宮焼きそばが出てきませんでした。実はコロナで2回中止でした。1回は出店場所の関係で、赤字を出し4回の出店営業しかできませんでした。利益も少なく、これもコロナが悪いのでしょう。このまま落ち着いて、インフルエンザのように罹ったら1週間療養して復帰という事になれば、なにも恐れることはありません。来年は規定回数営業ができることを願います。

友再開を果たしました。例会はお休みしました。このころからコロナの再拡大が進み、闇黒の日本へ入っていきました。

9月:長岡のプリテン書けない病がいよいよ深刻になった頃でした。会長挨拶を書いたきり、1行もプリテンが書けずに月末を迎えてしまいました。救ってくれたのが、井上ご夫妻でした。ギリギリでプリテンをはっこうできました。ありがとうございました。この頃、キジバトが足元まですり寄ってくるという珍事が起きました。キジバトの狙いは晩生のブルーベリー、毎日お食事にいただいていたようです。でも逃げないの可愛いものです。



10月:9月中旬から毎日栗を拾っていましたが、ついに腰が痛くてかがめない状況になりました。濱塚さんにSOSを出し、リーダーを派遣してもらいました。

濱塚さん以下4名のリーダーに拾った栗をすべてプレゼントする事で拾ってもらいました。今年は大豊作でした。例会は3か月連続のお休みです。

11月:4か月ぶりで例会を開催しました。コロナ禍の中、少し抵抗感がありましたが、強行開催しました。皆さんからの意見を聞いて、今後開催してもいいか尋ねたところ、十分な対策をすればかまわないとの意見で助かりました。実は来月のクリスマス例会を開くためのふせんとしたかったのです。ゲストのラビから。昔のフォークシンガー中山ラビを思い出し、いろんな事を芋づる式に書いた「ラビと言えよ」と言う記事は、近年になくお気に入りになりました。自画自賛ですが

2021年はもう終わりですね。オミクロン株なるものが世界中を不安に陥れています。しよせんウィルスです。人間の知恵と行動でやっつけましょう。私の会長職もあと半年になりました。コロナで失った活動機会をあと半年に凝縮して、会員増強に努めます。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

現在12月25日午後3時50分です。昨日から始めた編集作業が終わろうとしています。それにしても、プリテン書けない病に陥るなんて思ってもいないことでした。ライフワークであったはずなのに。新年からは強い気持ちでプリテンに向かい合いますので今年はお勤めください。それでは皆様、よいお正月をお迎えください。

昨日から、雪が降り続けています。冬将軍が里まで下りて陣を張りました。お前なんかには負けるか、霹靂一閃。



電池切れのブイ 双子のジーコ



おむすび会長 6年生のピリケン



妖怪豆じい、加藤メン